

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成22年度第3回)

議事録

2010年12月16日(木)開催

時間	15:00~17:00	場所	地盤工学会会議室
桑野委員長		末岡オフザ-ハ-	工藤委員兼幹事
浅田委員		岩瀬委員	× 杉本委員
山口委員			

:出席 ×:欠席 :未定

【議題】

議事録担当者の選出 山口委員

1. 前回議事録の確認 【別紙-1】pp.1-2
承認された。
2. 作業分担とスケジュールの確認 【別紙-2】p.3
前委員会で決定された各案件担当者,活動スケジュール,作業内容等について,再確認を行った。
企画部からの継続案件
 - 1)夏の学校 担当:杉本,山口
 - 2)連絡会委員会 担当:山口
 - 3)内閣府キャンペーン 担当:岩瀬
 - 4)土木学会連携 担当:工藤新規案件
 - 1)インフラ整備(HP整備,ファイル共有等) 担当:浅田,岩瀬,山口
・HPについては,まずトップページにどのような情報を載せるのかを決める必要あり。
・環境が整い次第,サポーター,委員,その他の会員とのコミュニケーションの場として活用できるように,随時整備を行う。
 - 2)JGS独自アンケート 担当:浅田,工藤,末岡,杉本
・定期的・継続的に実施し,トレンドを追うことができるようなデータを取りたい。
・会員支部が計画しているDBが稼動すれば(再来年度が目処),会員の活動履歴の統計データの取得が可能となる。アンケートでは,主に会員の意識の動向について尋ねる。
 - 3)会誌,HPへの情報発信
・イベント等の報告を随時行ってゆく。
神戸大会
 - 1)研究発表会特別セッション 担当:浅田,工藤
 - 2)託児所 担当:杉本
 - 3)女性会員カフェ 担当:杉本
 - 4)参加者統計 担当:工藤会長特命事項
 - 1)女性会員増加策
 - 2)若手会員対策 担当:山口他
 - 3)シニア会員対策 担当:末岡他委員会組織拡張
 - 1)委員・サポーター募集等 担当:桑野,浅田

3. シニア座談会案内について

【別紙-3】p.4

【追加資料】地盤工学会退会者の年代別
構成グラフ(2007-2009年度)

初めに、この座談会のコーディネーターである末岡ワザバから、メンバー及び座談会の内容(案)について説明があった。

1)メンバーについて

- ・座談会のメンバーは、多様性を考えて幅広い業種、立場の方々を8名挙げていただいた。そのうち3名については最終的な了承を得ていないため、これから最終調整を行う。
- ・女性会員も入れた方がいいのでは?という意見が出た。候補として若松加寿江氏(関東学院大学教授)が挙げられたため、末岡ワザバが調整することになった。

2)委員から提案されたベテラン会員への質問事項

- ・今までに地盤工学会の会員をやめようと思った事はあるか?
- ・会員を続けてきて良かった、助けられたと思った事はあるか?
- ・地盤工学会の現状や若い人たちに対して、どのような危機感を抱いているのか?

3)座談会の日程と今後のスケジュール

- ・メンバーがそろい次第、2月中には実施可能。
- ・地盤工学会誌への掲載を予定し、8月掲載を目標に取りまとめを行う。掲載予定ページを5~6ページとして、会誌部の了解をいただく。
- ・若手会員、女性会員、留学生などの座談会を、年に2回位のペースで次々企画することとした。山口委員には次回の委員会までに若手座談会のたたき台をお願いする。

4)その他

- ・50~60代になると委員会への声がかかりにくくなり、学会との接点が希薄になることから、退会につながるケースもあるという意見が出た。そこで、ベテラン会員によるアフター5講習会等をやってもらうのも良いのでは?という意見が出た。これについては今後検討してゆくこととする。

4. 夏の学校について

【別紙-4】pp.5-9

【追加資料】「全国土木系女子学生の会」
について

初めに、杉本委員から夏の学校のこれまでにについて説明があった。その後、山口委員から関東学院大学の「全国土木系女子学生の会」の学生を、お手伝いとして一緒に参加させていただかないかという案がだされた。

1)参加形態について

- ・今までは土木学会と合同でポスターセッションに参加し、そこで簡単な実験(エッキー君等)を行っていたが、今年はどうするか?もし実験を行うのであれば申し込み締切りが5月末なので、早めに計画をたてる必要がある。

2)土木系女子学生の会の学生参加について

- ・地盤工学会のブースを手伝っていただくことも可能であるが、土木系女子学生の会独自のブースを出すことも可能である。次回の委員会までに参加形態を検討していただく。

3)実験について

- ・実験やデモンストレーションを行うのに必要な道具や装置、ノウハウの提供を、各企業や組織にお願いし、データベースを作成するとよい。
- ・実験のスタッフは、学生会員に声をかけて手伝ってもらうのも良いのではという意見が出た。

5. 神戸大会関連(女性会員カフェ, 託児所, 他) 【別紙-5】p.10

1)女性会員カフェ

- ・空いている時間帯はランチタイムのみだが、昼食兼交流会を実施するには時間が足りない。
- ・カフェの場合、人数の変更に対して柔軟な対応が可能である。
- ・結論として、初日に行われる男女共同参画特別セッションの前(午後)の枠に入れるのが有力候補となった。
- ・場所は会議場内に確保する。

- ・参加者については事前に HP 等で受付を行い，サポーターにも別途声を掛けておく。
- ・費用は参加者から会費を徴収する。

2) 託児所

- ・託児所の設置については杉本委員が大会実行委員会と連絡をとって進めている。
- ・託児所の PR のために，近日中に託児所の設置案内を HP に掲載する。
- ・今回は JTB が HP を作成しているため，家族向け旅行プラン等のリンクを張って PR するのも効果的という意見が出た。

6 . 会長座談会を受けたミッションについての検討 【別紙-6】p.11

【追加資料】地盤工学会表彰規程

1) 顕彰制度について

- ・学会におけるダイバーシティ推進に貢献している団体を顕彰する制度を創設したい。既存の表彰の枠組みに一般表彰の一つとして組み入れることも可能。
- ・公益法人であるため，会員以外の個人や団体も表彰対象とするのが原則。あらかじめ，表彰基準はしっかりと決めておかななくてはならない。
- ・表彰されることに実質的なメリットがあるような仕組みを考えたい。
- ・担当者は末岡打ザバー，浅田委員。

2) 女性会員に関する情報の DB 化について

- ・委員会への女性会員登用の促進を呼びかける予定であるが，特定の女性会員に負担が集中する懸念がある。現在の女性会員の委員会の活動状況のリストを作成し，新しく委員を選定する際に参考にさせていただく。各委員会委員長には，なるべく新人の登用をお願いし，できれば非会員からの発掘も含めて検討いただくようにする。
- ・女性委員データベースの作成の担当は工藤委員とした。

7 . その他

1) サポーター募集の会告について

- ・会誌に掲載する会告については浅田委員が作成し，2月号に掲載予定。
- ・HP の新着欄、メールニュースでも募集する。

2) サポーター対応

- ・年度内を目処にサポーター募集し、体制を整える。
- ・松山の研究発表会特別セッションで協力者として名前を記入していただいた方に対しては，桑野委員長からサポーター募集に関してあらかじめお知らせする。

8 . 次回開催日の確認

次回の委員会は 2011 年 2 月 10 日(木)とする。